

作家 4月

2000.6 愛知県名古屋市長に生まれる
 2019.3 名古屋市立工業高等学校デザイン科 卒業
 2021.3 名古屋デザイナー学院インテリアデザイン学科 卒業
 2020.4 創作活動を始める
 2021.2 卒業制作「夢遊人」
 2021.11 「Heart Art in TOKYO」出展 持田絵章賞受賞
 2022.3 「Heart Art in KYOTO 2022」出展 持田絵章賞受賞
 2022.6 「Heart Art in FUKUOKA 2022」出展
 2022.9 個展「LIFE is ART ART is LIFE」

2020年より多数のグループ展に出展



ぽぽろ
poporo



絵を描くことで自分自身と向き合う
 絵を描き出して自分と対話する

アクリル画や油彩画、ミックスメディアを主に
 抽象画、風景画、人物がと幅広く制作
 夢や自分自身を愛する、自己理解を
 コンセプトに作品を制作
 Lovemyselfをテーマとしたボディペイントも制作

音楽 4月



桃井 聖司 (ももい せいじ)

岡崎市出身。東京都在住。『ヘラクレスの栄光』『メテオス』『大乱闘スマッシュブラザーズX』などのゲーム音楽をはじめ、映画、CM、演劇、ミュージカル、リトミックなど多岐に渡る分野の音楽を作曲。その傍ら、各種ステージで編曲・指揮・ピアノ演奏を担当。岡崎市民音楽祭、岡崎・額田合併式典、岡崎市民会館主催ダンス公演『ひとのけしき』の音楽を手がけるなど、地元岡崎での活動も精力的に続けている。2000年代より自ら脚本も担当する舞台芸術作品の創作に力を注ぎ、'01年に山梨にて『音楽劇“葉っぱのフレディ”』、'05年に岡崎にて『音楽劇“銀河鉄道の夜”』を、'22年に瀬戸にて『合唱劇“ブンナよ、木からおりてこい”』を初演し、東京・静岡・名古屋・多治見・博多はじめ各地で再演。本年6月、名古屋オペラ協会創立40周年記念公演において『オペラ“銀河鉄道の夜”』初演予定。

作家 5月



谷 明吹香 (たに あすか)

独特な世界観を持ち、リアルタッチな絵を得意とする。その世界観は、海外からの人気を獲得している。将来はweb・グラフィックデザイナーとアーティストとの二足の草鞋でキャリアを積んでいきたい。

金城学院大学 生活環境学部 環境デザイン学科 卒業
名古屋デザイナー学院 グラフィック学科所属 現

Instagram @aef_baby

受賞歴：

2020 公益法人色彩検定協会主催 色彩コーディネートコンクール『文部科学大臣賞』受賞

2021 金城学院大学学内コンペ 卒業制作ポスター『最優秀賞』

2022 プロジェクションマッピングコンペ「Gomangoku of light 2022」『岡崎たくみの会賞』受賞

2022 学内コンペ『最優秀賞』詐欺開発ポスター

音楽 5月



山口 珠早紀 (やまぐち みさき)

愛知県岡崎市出身。名古屋音楽大学音楽学部管楽コース 卒業。

これまでにトロンボーンを照喜名有希子、小幡芳久、吉川武典 各氏に師事。

在学中、室内楽・アンサンブルコンクールのタベXIにオーディションを経て出演。第23回日本クラシック音楽コンクール全国大会出場。

第24回 TIAA 全日本作曲家コンクール入選。第23回 JILA 音楽コンクール作曲部門ノミネート。ヤマハピアノ演奏グレード、指導グレードともに4級取得。

Quartet Tra-Bell トロンボーン奏者兼、作編曲家。ヤマハミュージックジャパンインストラクター。また、フリーランスのトロンボーン奏者としても東海地方を中心に各地で活動している。

2021年自身の所属する Quartet Tra-Bell にて、オリジナル曲全5曲を収録したCD「First Tra-Bell」リリース。また、「花言葉」をもとに花の名前をつけたピアノ曲を数多く作曲している。(「Misaki music」として ALL BGM CHANNEL よりサブスク音楽配信サービスにて配信中)

作家 6月



細川 涼夏 (ほそかわ すずか)

専門学校 名古屋デザイナー学院
グラフィックデザイン学科

・受賞歴
(学内コンペ)

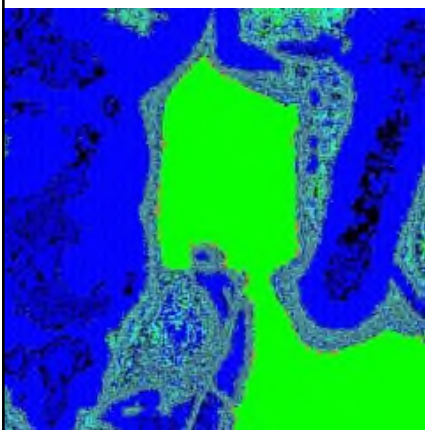
ハリネズミ専門カフェ「HARRY WOOD」採用
臓器提供啓発ポスター採用

(学外)

Gomangoku of Light 2022 審査員特別賞受賞

可愛いものが好きで、自分の可愛いを研究しながら日々勉強頑張ってます。
可愛い温かみのるデザインを得意としています。ポムポムプリンが大好きです。

音楽 6月



AM-PM

岡崎を軸に活動する作曲家

アンビエント-レフトフィールド的音景をコンピューターを通して現像する

-Event-

2/10 Quiet Village Listening Club (vol1)

3/21 Quiet Village Listening

Club (vol2)

-Art Work-

[dev-Looping]

作家 7月



田中 葵 (たなか あおい)

専門学校 名古屋デザイナー学院
グラフィックデザイン学科

学歴・経歴

- 2021.3 愛知県立豊田東高等学校卒業
- 2022.4 名古屋デザイナー学院グラフィックデザイン学科入学
- 2022.11 学校祭ポスター・DM・フロアマップ作成
- 2022.12 Gomangoku of light 2022 ミクスネットワーク賞 受賞
- 2023.2 学内コンペ 詐欺啓発ポスター 入賞
- 2023.3 徳川十二新匠 ロゴ・ポスター作成

SNS

twitter: タナカ tanaka_152

話題のタネになるデザインを目指して日々学んでいる学生です。
本と文字、デザイン、イラストが好きで中でも、3度の飯より文字が好きと
自称するくらいの文字好き。よくロゴを作っている。
今回のイベントロゴとポスターを制作している。

音楽 7月



Akira Kawarazaki

2001年よりロックバンドの活動と平行し、様々なクラブミュージックやカルチャーを追求すべくディープで中毒性のある曲を中心に圧倒的な存在感と独立のプレイスタイルを確立。

2012年10月にはModern Tool Recordsから「In Focus」を始め2014年7月 Fugenn&The White Elephantsとの共作「I's」をRelease。

2016年7月Blue Arts Musicから「Duesenberg」2018年4月 10th Anniversary Compilationに「For K」 Tetsuya Hikita RemixをRelease。

2020年「NIGELLA」「Tacit」をRelease。

2021年4月 Zodiac13 RecordsからReqterdrumer「Phonics」RemixでBeatport Electronica Chart 21位となる。

2022年1月 Takuya Yamashita「A Thread of Light」Remix でBeatport TECHNO (RAW / DEEP / HYPNOTIC) Chart 1位となる。

2016年からはThe LazarusのメンバーのGuitaristとして活動を開始。

作家 8月



鈴木 蒼乃 (すずき あおの)

学歴・受賞歴

2021 第14回東濃地区高校美術展 優秀賞
第45回全国高等学校総合文化祭 出展
第79回多治見市美術展 市長賞
2021 土岐商業高校卒
2022 第71回中部二科展 奨励賞
2022 名古屋デザイナー学院入学
学内コンペ HARRYWOOD A4 チラシ 採用
マリオットホテル 越前・加賀フェアポスター 採用
DESIGNERS COLLECTION メインビジュアル 採用
プロジェクションマッピング 「Gomangoku of light 2022」 ミクスネットワーク賞

自己紹介

人の眼を魅くデザインを目指すデザイン学生。
得意なことは彩度と明度の高いデザインとコラージュ。様々なジャンルに挑戦し、自分のスタイルと求められるデザインの両立を目指して日々勉強しています。

sns蛸蚪 twitter @kataasiotama

音楽 8月



(写真：月永進)

瀬乃一郎 | Sceno Ichiro

作曲家。愛知在住。名古屋の劇団 廃墟文藝部に所属。
小演劇作品・舞台作品の劇伴音楽を数多く担当し、音楽と演劇を軸に表現を追求している。その他、ポエトリーバンド白線の内側を結成、キーボードを担当。近年ではボーカロイド楽曲の製作も手掛ける等、多岐にわたり精力的に活動している。

(主な経歴)

2015年 AAF 戯曲賞第13回 受賞作『パブリックイメージリミテッド』メインテーマ曲公募 採用
2019年 自主企画の初舞台公演、音楽ライブ上演『SEE SHE SEA』発表

作家 9月



松本 かれん (まつもと かれん)

手先が器用で小籠包を作ることができます！ライブやフェスに行くことが趣味のデザイン学生です。

わたしは、人に影響を与えることのできるデザインの力に感動し、いろいろな情報を詰め込んで、広げることのできるWEBサイトに魅力を感じました。人の夢やモノの価値をあげられるようなWEBデザイナーを目指しています。昨年岡崎市で開催されたプロジェクションマッピングのコンペで入賞させて頂き、このご縁を頂きました。夏の終わりでも、秋の始まりでもある9月。絶妙な季節だからこそ感じられる温かみを感じていただきたいです。よろしくお祈りします。

(受賞歴)

- ・ Gomangoku of Light 2022 エフエムEGAO賞 (ラジオ番組に2度出演)
- ・ 某TV CM採用

音楽 9月



House of Tapes

トラックメイカー / 電子音楽家。

電子音楽の名門PROGRESSIVE FORMからアルバム2枚を全国リリース。その他に日本、イギリス、ドイツのレーベルから音源リリース多数。

DOMMUNE出演。音楽イベント「ナゴエレ」主催。音楽レーベル「7g wink」主宰。

作家 10月

村瀬 ひより

Hiyori Murase



「この空間は居心地が悪くてぬるい」

イラストレーションを中心に「日常生活」とその中に潜む「不安」をテーマにした作品を制作している

2000年4月 愛知県で生まれる

2019年3月 名古屋市立工芸高等学校デザイン科 卒業

2020年4月 名古屋芸術大学芸術学科洋画コース 入学

2021年11月 名古屋芸術大学 HEIGEN 個展

2023年1月 Hochschule für Künste Bremen

GALERIE FLUT グループ展

音楽 10月



真田 修吉 (さなだ しゅういち)

愛知県豊橋市生まれ。

2007年 Being ZAIN RECORDSよりメジャーデビュー

TV愛知「スパイスガールTV Bonita! Bonita!!」のエンディングテーマや、映画「サンシャインデイズ」(出演:西原亜希、斉藤慶太、大杉漣、浅利陽介、ヒロシなど)の主題歌を担当。

東海ラジオでレギュラーコーナーも担当する。その他ゲストとしてTVやラジオにも多数出演。

数々の音楽活動を受け、日本テレビ「バスリズム」の出演や、映画の主題歌に選ばれるなど、様々な音楽イベントにも出演。

現在は豊橋の音楽スクール「TONK VOCAL SCHOOL」で講師をしている。

作家 11月

愛知工科大学 加藤高明研究室

地域住民の方や商店街、社会的活動を行っている団体に対して、課題の解決や活性化を支援できるような各種デジタルコンテンツの検討や制作を行っています。地域のお祭りやイベントを盛り上げるプロジェクションマッピングやスマホゲームを制作したり、色覚障害を疑似体験する映像にプロジェクションマッピングを応用したりしてきました。

佐々木 大暉

高校生時代に見たプロジェクションマッピングをきっかけに、福岡の短期大学卒業後、本研究室に興味を持ち三年時編入。誰かのきっかけになれるような作品を作ることが目標。

22年2月福岡工業大学短期大学部の卒業研究にてProcessingを使用したプロジェクションマッピングの作成を行う。22年12月には、岡崎市・地元企業と協賛しテーマに沿ったプロジェクションマッピングをワークショップにて作成。

羽柴 聡希

プロジェクションマッピングに惹かれて愛知工科大学へ編入学。現在は映像作品について勉強中。人の心を動かすことができる作品を作ることが夢。

22年前期講義「映像制作プロジェクト」にて市民団体様へチームで取材をし、動画制作を行う。22年10月蒲郡市民フォーラムで制作作品を発表。

磯貝 稜

「観光×デジタルコンテンツ」をテーマに、映像作品やアプリケーションの制作を行っているエンジニア見習い。将来の目標は、XR分野をより観光業に広めること。

22年8月北海道芽室町にある株式会社三浦商店でインターンシップを行う。23年6月には、自作したWEBサービス「みなくる商店会デジタルスタンプラリー」を開始する。

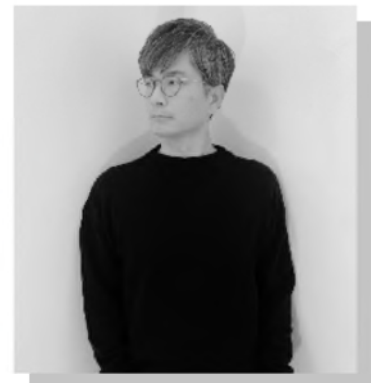
音楽 11月

大島 祐介

2000年に結成され、黎明期の国産ポストロックムーブメントの一翼を担ったインストゥルメンタル・エレクトロニック・バンド、ALL OF THE WORLDのメインコンポーザーとして国内外のアーティストとの共演等、精力的な活動を続ける。

バンド作品として、2004年1stアルバム「the dance we do」、2008年に2ndアルバム「Finesse」を発表。以降、主な活動のスタンスを他アーティストへのトラック提供やミックス、マスタリング等のサポート的なものへとシフトさせていくが、2021年、突如13年ぶりとなる新作「lull」をリリース。

近年、ダンスミュージックへのアプローチをより一層強め、そのDJライクなライブパフォーマンスが各地のフェス、ライブ会場で高く評価されている。



作家 12月



KAI

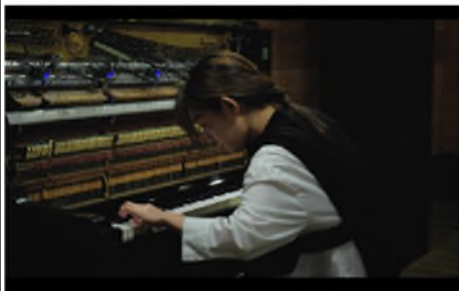
<Visual artist>

その時の感情を生き写した作品を制作。
平面作品だけでなく、
使われなくなった植木鉢にペイントを施し
アート鉢として蘇らせる
”アップサイクル制作活動”も行っている。

- 2015年11月 初個展開催
- 2018年12月 個展-開眼展-
- 2020年02月 盆(才)展参加
- 2020年10月 淡路ガーデンレサンス参加
- 2020年12月 13百貨店参加
- 2021年03月 個展-ハルヨ、コイ展-
- 2021年05月 個展-喋喋喃喃-
- 2021年12月 個展-Christmas party-
- 2022年03月 オープンアトリエ参加
-岡崎アートヴィレッジスタート記念-



音楽 12月



野口 桃江 (のぐち ももこ)

アーティスト・作曲家

システムの美しさや共感をテーマに持ち、器楽曲—電子音楽の作曲、生体情報を扱ったピアノ即興演奏パフォーマンス、インスタレーションの制作など多岐にわたる創作活動を行なう。

桐朋学園大学音楽学部 作曲理論学科卒業。同大学研究科修了。仏リヨン国立高等音楽院にて電子音響とオーケストレーションを学んだ後、蘭デン・ハーグ王立音楽院 ArtScience学科修士課程修了。日欧各地のフェスティバル、コンサートに出品/出演している。

2017年、拠点をヨーロッパから愛知県へ移し、より地域に根ざした活動を始める。豊田市主催「とよたデカスプロジェクト」に採択され、EVをアート化する「Quenelle-感覚つながる小型EV」を二年間実施。創作のほか、音のワークショップをとおして、幼児からお年寄り、大学生、障がいを抱える人、外国籍の子供たちなど、多様な人々と関わることをライフワークにしている。演奏家、エンジニア、ダンサーとのコラボレーションも多い。

主な活動歴

- 2022 医療施設での滞在制作。ほっちのロッジ、軽井沢
- 2022 「π for solo percussion」 出品。國家兩廳院,台北 (台湾)
- 2022 「QUENELLE-感覚つながる小型EV」 展示、ワークショップ、企画制作。豊田市
- 2016 「サウンドパフォーマンス プラットフォーム」 出演。愛知県芸術劇場
- 2015 「ある海辺」 楽曲提供。スマートイルミネーション横浜2015。横浜市
- 2014 「Fête des lumières」 光の祭典出演。リヨン (フランス)
- 2014-2021 「Ogen/blik vol.1-4」 出演、企画制作。Het NutsHuis (オランダ)。両国門天ホール、オンライン公演
- 2013/2018 「Lichtkunst Gouda Festival」 ライトアートフェスティバル出演。FIRMA VAN DRIE。ゴータ (オランダ)
- 2013 「GGOBOT Youngblood award」 出演。TETEM, エンスヘーデ (オランダ)
- 2008 「Spring of Percussion」 出品。浜離宮朝日ホール,東京
- 2007 「日本音楽のタペ」 出品。津田ホール,東京

momokonoguchi.com

作家 1月

nobigurumi



- 1983 名古屋市生まれ
- 2004 愛知産業大学 造形学部 産業デザイン学科卒 2005同学 研究生修了
- 2006 名古屋:新栄 cross gallery 個展
- 2007 京都 gallerygallery 個展 名古屋:栄 Sakae Art Festival セントラル画材賞
- 2008 京都 gallery gallery 個展
- 2009 大阪 編 個展 名古屋 名港ミュージアムタウン名古屋 Dアートフィスティバル
- 2010 銀座 巷房 個展 大阪 galleryかのこ 個展
- 2011 京都 gallery gallery 個展
- 2012 高知 pot 個展 アートフェア京都
- 2012-2017 岡崎城下家康公まつり ねぶたオブジェ監修
- 2014 名古屋 ナゴパル名古屋
- 2015 大阪 ami-kanoko 個展
- 2016 イギリス JAPAN KAWAII展 UCA芸術大学/ rugby museum
- 2019 アムステルダム THE ART OF SEPTEMBER 個展
- 2019-2022 郡上八幡 町屋オィデナーレ メインビジュアル/ライブペイント
- 2022 masayoshisuzuki gallery 岡崎市 gallery編かのこ 大阪 LAD gallery 名古屋
- 2023(展示予定)
- 3月 岡崎市美術館
- 5月 名古屋
- 7月 バンコク/軽井沢
- 8月 京都
- 9月 一宮市



音楽 1月



田中 佐京 (たなか さきょう)

愛知県岡崎市出身。29歳。(笙・箏演奏者)

20歳から名古屋を拠点に作曲活動など、様々な音楽活動を展開。

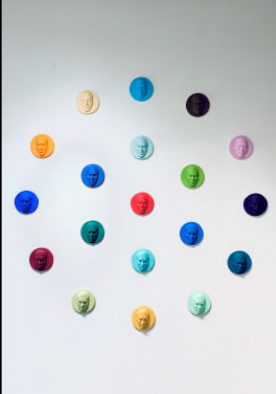
同年から雅楽を始め、現在、即興演奏や西洋楽器、和楽器、書、芸能とのコラボレーションなど、古典芸能の雅楽だけでなく、新しい表現を展開している。また雅楽と日本の関係、歴史を語る。

特徴はその楽器による即興演奏。

その場の空気共感し、振動を感じ取り、音にすることを活動の中心に置いている。

雅楽は祈りを共振させるために生まれた。笙は「天」、龍笛は「空」、箏は「地」の音であり、これらの3つで宇宙を表している。

作家 2月



mame

1991年 愛知県生まれ

彫刻、フィギュア、トイアーティスト

日本全国での出品経験もある彫刻家でありながら、
現代的なフィギュアやコンセプチュアルな立体作品を制作。

「CULTURE な SCULPTURE(彫刻)」をテーマにした彫刻のシリーズや
「怪獣×金鯱ぎ」をテーマにした作品のシリーズを展開中。
またけん玉アーティストとしても活動しており、国内外でもデザインの担当や作品を発表している。

【略歴】

- 2014 けん玉作品「KENDAMAD」を発表。以後、けん玉アーティスト、フィギュアアーティストとしての活動をスタート
アメリカ「Japan times」にて作品が掲載
- 2017 NHK 第68回 紅白歌合戦 以降3年連続出演
- 2018 名古屋の玩具店「丸八玩具」ソフビ制作所「Unplug Works」と共にソフビ制作をスタート。千支シリーズのデザイン、原型を行う。
- 2019 NHK「沼にハマってきいてみた」けん玉アーティストとして出演
個展「sculpture」岡崎市 masayoshisuzukigallery
- 2021 「これからのつくりびと」名古屋 名古屋三越栄店
「KENDAMA ART COLLECTION VIBES」東京 DOUBLE TALL ART & ESPRESSO BAR
- 2022 「Cre Fes New Year 2022」名古屋 LACHIC
「BORDERLESS」岡崎市 masayoshisuzukigallery
- 2023 「Cre Fes New Year 2023」名古屋 LACHIC
「Wonder Festival 2023[Winter]」参加 千葉 幕張メッセ



音楽 2月



太田 英美 (おおた えみ)

愛知県一宮市出身。名古屋音楽大学音楽学部音楽学科電子オルガンコース卒業、同大学院音楽研究科作曲専攻電子オルガン修了。
大学入学時、在学中は特待生となり、大学主催の演奏会にも多数出演。
小学生の頃より、エレクトーンコンクールに出場し数多くの受賞を重ねる。
エレクトーン作品コンテスト2019では優秀賞を受賞。ソロ演奏以外にもコラボレーション・伴奏など幅広い演奏活動を展開しながら、ラジオ等メディア音楽制作も手掛けている。
一宮市レジデンスアーティスト。
和太鼓衆SHINメンバー。

PLANTONE



PLANTONE LLC.

PLANTONE (プラントン) は、両脚を拠点に構え活動する創造的会社です。

我々PLANTONEは、ウォンツをデザインする前段階、プレ・デザインを重視しています。
「カタチだけのデザイン」ではなく、「モノ」と「コト」の両面からのアプローチでプロジェクトを進めていくことで、「PLAN + TONE」の本質を見極め、ウォンツを明確に可視化し、具現化した、あなたの「TONE」に応える「PLAN」を創造します。

PLANTONEには、視覚、聴覚、触覚に携わる様々な分野のクリエイターが在籍しています。
多角的な視点から向き合うことで生まれるミディウム。

多様な時代、多様な文化、そして多様な未来を創造してゆく手立てとして我々は、「PLAN + TONE」をミディウムの根とし、価値生成の根源を常に意識しながらプレ・デザインの核心を捉え、新たなモノ作りのカタチを模索しています。

2023年4月 PLANTONE LLC. を創立
2023年8月 株式会社 PLANTONE LAB. をオープン。

